

2 さんの「M F J 北海道エンデューロ選手権第 2 戦ルスツ大会」観戦レポート - 2022.6.5 BIG BEAR -



例によって今回もまた “MFJ 北海道エンデューロ選手権第 2 戦ルスツ大会”を観戦するためにBIG BEAR に行ってきました。

レース当日の天候は、晴れ時々曇りといった感じで、地面もほどよく湿っており、ホコリがたたない絶好のコンディション。



出場台数は総数 61 台。公認クラスが 49 台、承認クラスが 12 台。

内訳は I A クラスが 1 台、I B クラスが 11 台、N A クラスが 7 台、N B クラスが 30 台、B クラスが 5 台、C クラスが 5 台、D クラスが 2 台でした。

レースは予定通り 9 時に承認クラスの B・C・D クラスがスタートし、11 時 30 分に公認クラスの I A・I B・N A・N B クラスがスタートしました。

＜レースの様＞

主催者の事前情報では公認クラスは難易度の高いコース設定になっているとのこと。具体的にはここ数年のルートとは違って反時計回りのコースで「サトヒル」と「狭いウドクライム」を一気に駆け上がる少々ハードな設定になっていました。この2か所は雨が降ると難所になるセクションです。

1 サトヒル

二年ほど前から使い始めたサトヒルは、加速が抜けて登頂が難しいとされていた斜面下の側溝も埋まっており、路面も乾いていたので、今回はそれほど難しくはなかったようです。



とは言っても、真正面から見ると、ほぼ直角の壁にしか見えないので、どうしようか？ と考えはじめると尻込みしてしまいます。

クリアするために必要なのは、チャレンジする気構えとそれなりのマシンの勢いだろうな・・・

って考えているうちに“ドドド”と、公認クラスのライダーたちが数珠つなぎになってやってきました(*'艸`)

I Aライダーの30馬場選手を先頭に、I B～N Bの選手たちまで皆、次から次へとサトヒルをクリアしていくではありませんか！！

みんないとも簡単にスイスイ上ってしまうので、カメラを構えていた自分はすっかり拍子抜けしてしまいました(#^^#)笑



2 牧草地を爆走

サトヒルを上り切ればそのあとは牧草地を爆走します。天気も良くホコリもたたないので選手たちはとても気持ち良さそう。しかもみんなカッコ良く走っていたので思わずシャッターを切る回数が増えてしまいました(#^^#)



3 ウドクライム

ウドクライムは、上にあるウド畑まで狭い竹藪の中を潜り抜けて上っていくルート。



先週の雨降り後の試走で某スタッフが掘った深い轍があり、狭くて渋滞が懸念されていました。

なので、レース前日に仲間と一緒に笹刈りをして左右に広げたのですが、茎は竹槍を作れちゃうほど硬くて刈払うのが大変。しかも地面から硬い茎の切れ端が出ている。

作業をしながら、ここでは絶対に転びたくない・・・という気持ちになってしまいました(#^^#)

狭い笹藪を抜けて開けたウド畑の草地に入ると、ライダーたちが“我先に！！”とアクセル全開で走り出します。



3 ウド畑の頂上

ここはとても景色が良く、コースが広く土の上や草地の中など何処でも走ることが出来るので、日頃の仕事のストレスを発散するにはもってこいの場所！！ みんな頂上を目指して一気に駆け上がります(^^)／



<レースの結果>

今回の全道戦の見どころは、I Aクラスの参加状況とI B・NBクラスの上位争いといったところ。まず出場台数30台と激戦クラスとなった、NBクラスの結果からお伝えしたいと思います。

<NBクラス>



毎年、突如として速い選手が現れるこのクラス。

第1戦に引き続いて446羽田選手が優勝しました。総合でも9位とこのクラスでは断トツの実力を発揮しているようです。

今後同じルスツで行われる全日本併催の2 DAY Sオンタイムレースや悪天候のレースでどのような走りっぷりを見せるのか、とても楽しみになってきましたね。

また今回のレースで目を引いたのが2位に入った430高見智代選手。

これまでのYZ125からYZ250に乗り換えたこともあるのか、最近はめっぽう調子を上げています。

前回の栗丘戦でも4位の好成績を上げており、目下ポイントランキングで3位に入っています。



もう一人初戦から安定した成績を収めているのが3位に入った453中島英二選手です。

前回も2位。ポイントランキングでも2位を維持しており、NA昇格を目指して順調にポイントを重ねています。

今後、この上位3人が、ポイントランキング4位の408斎藤祐輔選手や5位の413石原信選手、また今回4位の成績を収めた441高橋輝志選手らとどのようなレース展開を見せてくれるのかが楽しみになってきました。



< I Bクラス >

前回、マシントラブルのため6位に甘んじた157 砂田彰選手が、前回のチャンピオン116 伊藤智哉選手に2分以上の差をつけて見事初優勝しました。



聞くとところによると、この二人は同じX P Cチーム（MX）に所属しており、砂田選手がチーム監督だとか！

伊藤選手の某トレーナーからは「まあでもチーム員でワンツーフィニッシュと独占叶いました。まだまだトモやは鍛えないとね。」というようなつぶやきが・・・(*'艸')

「今年はI A昇格を狙います。」と断言している砂田選手と、大学2年生でまだまだ伸び盛りの伊藤選手が、今後どんなレース展開を見せてくれるのでしょうか？

またこのクラスには、このほかにも、今回3位の135 菊池選手、4位の106 田崎一磨選手、5位の150 北谷智実選手など実力派の選手が揃っています。

I A昇格枠は1つ。その枠に入るためには僅差で勝敗が決まる各レースで、1位を数多く収めることが絶対有利。（2位よりも5ポイント多く獲得できる）。怪我やイージーミスに気を付けて、このクラスに相応しいテクニック満載の熱いレース展開を見せてほしいですね！！
過去には、緊張してガソリンを入れ忘れてレース中にガス欠になった現I A選手もいるんですよ(^^)



< I Aクラス >

昨年のルスツ戦では、全日本大会に出場している I A クラスの保坂選手や中江選手、佐藤選手、佐伯選手ら 4 人の選手の走りを見ることができたので楽しみにしていたのですが、今年は残念ながら出場者が 3 0 馬場崇行選手一人と、前回に引き続きレースが不成立となってしまいました。



それでも I A 選手の美しいフォームを見て写真に収めることができたので自分としては大満足。

オフロード人口が減少する中ですが、I A クラスの皆さんには道内の若い選手たちのお手本として、機会あるごとに熱い走りを見せていただきたいと思いますね！！



< N Aクラス >

参加台数が 7 台の N A クラスは、3 2 9 逸見将人選手が前回優勝の 3 3 0 佐藤雄一選手を抑えて優勝しました。総合成績でも堂々 2 位に入る好成績です。

逸見選手はもともと I B クラス。
ライセンス更新を逃して N B クラスから今年 N A クラスに昇格しました。



2 位は 3 3 0 佐藤雄一選手、3 位は 3 3 3 嵐口哲也選手でした。



<承認クラス>

承認クラスはBクラス5台、Cクラス5台、Dクラス2台。しかもマーシャルが7人も付いたので、C・Dクラスにしてみればマンツーマンの贅沢なレースになりました。

Bクラスの優勝は607荻野正彦選手、2位は600成田清吉選手、3位は608佐竹孝彦でした。



Cクラスの優勝は677吉田侑平選手、2位は680上野優太選手、3位は660兼古譲選手でした。



Dクラスは今回2台の出場でレース成立。優勝は703高橋エリカ選手、2位は704春木和音選手でした。



春木選手はバイクにまだ10回しか乗ったことがないという初心者。

1周目でヘリポート近くの上り坂に苦労するも、アクセルとギアシフトのコツをつかんで上り切った後は、淡々と周回を重ねていました。

今後の成長ぶりが楽しみです。

＜表彰式＞

● I Aクラス



(馬場選手)

● I Bクラス (左から3位～1位)



(菊池選手)

(伊藤選手)

(砂田選手)

● N Aクラス (左から3位～1位)



(嵐口選手)

(佐藤選手)

(逸見選手)

● Cクラス (左から3位～1位)



(兼古選手)

(上野選手)

(吉田選手)

● N Bクラス (左から10位～1位)



(村上選手)

(石原選手)

(高橋選手)

(中島選手)

(高見選手)

(羽田選手)

● Bクラス (左から3位、1位)



(佐竹選手) (荻野選手)

● Dクラス (左から2位、1位)



(春木選手) (高橋選手)



<車検・受付、開会式、ブリーフィング>



<編集後記>

夜9時過ぎに写真を整理していたらFacebookからメッセージが届いた。文面からすると、FBにアップしている自分の写真をいつも見てくれているようだ。そして今回も写真を楽しみにしているという内容だった！！

いつも写真撮影ありがとうございます!!昨日のルスツの時も撮影ありがとうございます😊写真楽しみにしてます😊

僕はNB 400です!高校一年生で最年少やらせて頂いてます笑

そしてその後に「僕はNB 400です。高校1年生で最年少やらせて頂いてます笑」と書いてあった。

今時というか今だからこそこんな子もいるんだなぁと感心。自分が高校生の頃にはとても出来なかったことだ。(メールもなかったけど)。就職の面接試験だと積極性は二重丸だ！！

それにしても自分の撮った写真を喜んでもらえているという気持ちが伝わってきて、とても嬉しい気分になってしまった。

レース数日前のワクワク感、本番のドキドキ感、レース後の自分の写真を見るまでの期待感と見た時の満足感！！勝敗以外にも、これらがあるからレースは楽しいんだろうと思う。HIDAKAやルスツのコース作りの手伝いもそうだけど、自分が役に立つなら、これからもレースの記録写真を撮り続けていきたいと思う！！

それともう一つ。手伝いで頂いたお昼の弁当の中身は凄かった！美味しかったし、おかずが多くて、お腹一杯になってしまった。こんな弁当なら毎日食べてみたい気分になってしまった(#^^#)嘘

■ 次回のレース！！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

次回は 7月17日(日)に「MFJ 北海道エンデューロ選手権シリーズ 第3戦ヒーローレーシング大会」が、今回と同じBIG BEARで開催されます。皆さん、次回も是非、会場でお会いしましょう(^^)

BY 2か



● 2か of フォトギャラリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

<https://photos.app.goo.gl/Q1NjtWAXVw8k7ZTe9>

● リザルト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

http://www.maxbrain-jp.com/users/lap/result.cgi?evt=220605_ezo

● MFJ 北海道EDポイントランキング・・・・・・・・・・・・・・・・

https://www.mfj.or.jp/local/2022-ed-hokkaido/?page_type=ranking

● 2022 北海道エンデューロ選手権シリーズ第3戦 ヒーローレーシング大会・・・・・・・・

<https://www.mfj.or.jp/local/2022-ed-hokkaido/rd3/>

